

この紙のゴール： 比べる相手がどこにいるかを見て型を選び、否定の比較を読み分けられる / 語群なし。自分の力で形を思い出して書きます。

1 場面に合うほうを○でかこもう。

知識・技能

各3点

(1) 昼休みの購買の列で	Nothing was different today. The lunch line was (longer than / as long as) it usually is.
(2) 帰り道、空を見上げて	The sun went down while we were talking. The sky is (as dark as / darker than) it was ten minutes ago.
(3) 試験週間の校内を案内して	The library is (more crowded / the most crowded) room in this school.
(4) 図書だよりの数字を紹介して（3年生240冊・1年生120冊）	The third-year students borrowed (twice as many / two times more) books as the first-year students.

2 対話が通じるように（ ）に英語を書こう。

知識・技能

各2点

A: Is the new study room as bright () the old one?
B: It is much brighter () the old one.
A: Really? Then where should we sit?
B: By the window. That is the warmest seat () the room.

3 自分のことを書こう。

思考・判断・表現

2点

自分の学校の中の2つの場所を比べて、英語1文で。

4 否定すると何が変わるかを読み取ろう。

思考・判断・表現

各2点

同じ2回のテストの長さについて話しています。どちらも英語として正しい文です。
A Today's test was not as long as yesterday's.
B Today's test was not longer than yesterday's.

① 「2つの長さが同じかもしれない」と読めるのはどちらですか。記号で答えよう。

② なぜそう言えますか。もう一方が何と言っているかにふれて書こう。

解答

1		2	
(1)	as long as	(1)	as
(2)	darker than	(2)	than
(3)	the most crowded	(3)	in
(4)	twice as many		

3（解答例） The gym is much colder than the library in winter.

4 ①は正答が1つ。②は一例で、趣旨が合っていれば表現は問いません

①	B	「昨日より長くはない」＝同じ長さでも成り立つ。
②	「Aは『昨日のテストほど長くない』＝昨日のほうが長かった、と言い切っているから。」 （一例）	原級の否定は差をはっきりさせ、比較級の否定は「同じ」を残す。「否定文にすれば意味も逆になる」と思っている答案がここで止まる。

採点のめやす

- ・大問1は(1)が原級、(2)が比較級、(3)が最上級、(4)が倍数で、**4問とも正解の形が違います**。「比較の単位だから -er と than」と当てにいった答案は(1)(3)(4)を落とします—返却時にここを1分取り上げてください。
- ・大問1(1)はこの単位でただ1つ「比較級ではない」問題です。どの帯にも残してください。
- ・大問1(4)は倍数の枠を見えています。two times とは言わず twice、3倍からは three times で、two times more … than は枠がくずれています。
- ・大問2は3語とも語群の並びを空所の順とわざとずらしてあります（順番で当てられないように）。
- ・大問2は標準版・発展版に語群がありません。(1)は as ではさむ枠、(2)は比較級のうしろなので than、(3)は the room というひとつのまとまりなので in で、いずれも一意です。
- ・大問3は**比べる相手が最後まで書けているか**だけを見ます。The gym is colder. で止まった答案が最も多く出ます。
- ・大問4は暗記では答えられない問いです。見取り図には not as … as しか載せていないので、Bの読みは自分で考えるほかありません。
- ・帯ごとの扱い：学び直し帯は見取り図に倍数の行が無いので、大問1(4)を外して21点満点で扱ってください。
- ・基礎固め帯は整理表で倍数を見えています、基礎版のドリル・表現ワークには倍数の練習がありません。小テストの前に、標準版ドリルの大問2(2)と大問3(1)だけを配って1度書かせてください。
- ・基礎固め帯・実力帯・入試帯は24点満点です。
- ・発展版は大問1が記入式です ((1) as long as / (2) darker than / (3) the most crowded / (4) twice as many)。(2)を more dark than と書いた答案は不正解です—dark は -er 型ですが、much darker than は正解にしてください。(3)は the +最上級の形が合っていれば語は問いません。(4)は two times as many と書いた答案も正解にし、twice のほうがふつうだと添えてください。
- ・大問4を加えて24点構成です。10分で最後まで届かないクラスは、大問3を宿題に回すか、大問4だけを次の時間の導入に使ってください。